# 2026 年度コンプライアンス講習会 理解度確認テスト結果

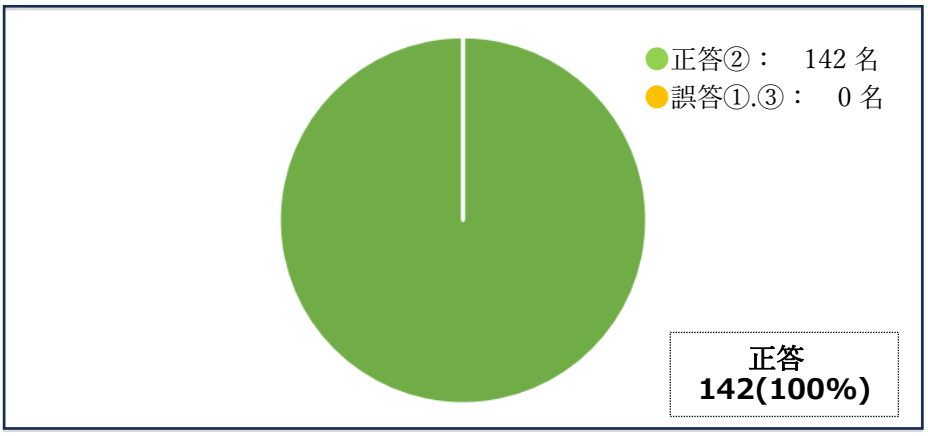
実施期間：2026 年 6 月～9 月　回答者数：142 名(対象 142 名)

1. 文部科学省の「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン」は、何を目的として策定されたものですか

● 正答：②研究費を適正に管理するため

● 誤答：①研究成果を増やすため

③研究者数を増やすため

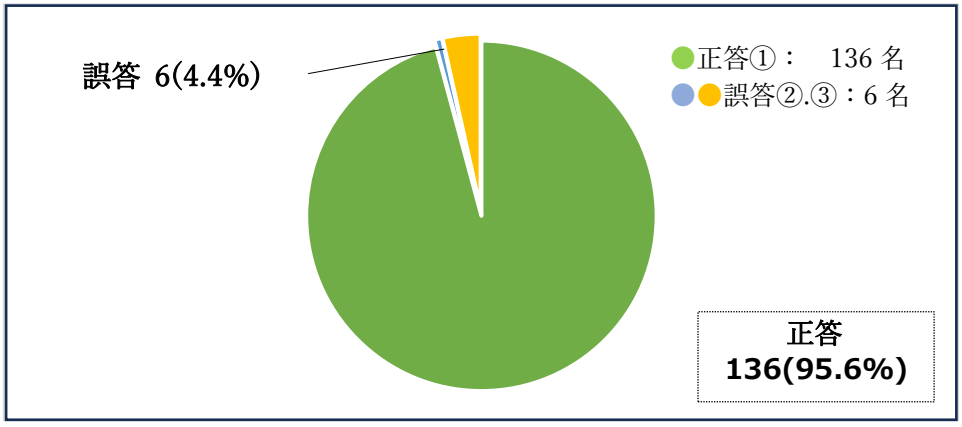



2. 不正発生の「不正のトライアングル理論」で、不正が起こる要素として挙げられているものはどれですか

● 正答：①動機・機会・正当化

● ● 誤答：②能力・経験・知識

③研究費・設備・人材



3．研究費のルールや手続きについて不明な点がある場合、研究者はどうすることが求められていますか

- 正答：③所属機関の相談窓口へ確認・相談する
- 誤答：①自分の判断で進める
  ②同僚にだけ相談する

